HIBIKI
～市民と響き合う議会～
響 ひびき
八王子市議会だより
平成30年
第1回定例会
No.248
平成30年（2018年）
5月1日発行

「五月晴れ」（高尾駒木野庭園・裏高尾町）　鈴木 良二さん（下柚木在住）

30年度当初予算案を可決

子ども施策に重点を置いた予算をチェック！

30年第1回定例会は、69件の議案が上程され、67件を可決しました。そのうち、給食センターの整備など、次の100年を担う子ども関連施策に重点を置いた「30年度一般会計・各特別会計予算」等の議案は、予算等審査特別委員会を設置し、慎重に審査（P4～P7）しました。

議会基本条例の検証始まる
（P15）

主な内容

予算審議　（概要）・・・・・ 2
（代表質疑）・・・・・ 3
（総括質疑）・・・ 4～7
（討論）・・・・・ 8
本会議・・・・・・・・・・・ 9
常任委員会・・・・・・ 9～11
議案・請願の審議結果・・・ 12
議会報告会・・・・・・ 14～15
議会基本条例の検証・・・・ 15

第1回定例会の主な日程　会期:2/26～3/28（31日間）

2月19日	**招集告示日**
26日	**本会議**（補正予算の説明・代表質疑など）
27日	**総務企画・文教経済委員会**
28日	**厚生・都市環境委員会**
3月 5日	**本会議**（30年度予算の説明・代表質疑など）
6日	**本会議**（補正予算の採決など）
3月 7日～9日・12日	**予算等審査特別委員会**（総括質疑）
13日～16日	**各分科会**（予算審査）
14日	**総務企画・文教経済委員会**
16日	**厚生・都市環境委員会**
23日	**予算等審査特別委員会**
27日	**本会議**（討論・採決など）
28日	**本会議**（一般質問）

議会運営委員会　2月21日・26日、3月5日・23日

愛称「ひびき」は、**“市民と議会が「低音から高音まで」明るく響き渡るように”**と市民公募により命名されました。

特集

平成30年度当初予算審議 ～新たな100年への第一歩～

夢と希望が持てるまちの実現を目指して

議員が質す（ただ）

平成30年度当初予算の考え方と取り組み

市長が提案した30年度当初予算は、予算等審査特別委員会で審査され、本会議で記名投票により原案のとおり可決しました。この特集では、予算審議の主な内容を掲載しています。

市長が提案した 当初予算の概要

（　）は対前年度比

石森市長

歳 入　**市税収入は898億6千万円**
（9千万円減）
・景気回復による個人・法人市民税の増
・徴収努力による滞納繰越額の減

歳 出　**民生費は1,021億2千万円**
（9億2千万円減）
・障害者自立支援給付費などの増
・介護保険施設等の整備促進経費の減

財政の健全性を堅持

◎市債残高は1,979億3千万円
（19億7千万円減）

◎将来負担比率は2.7%
（1.9ポイントの改善）

平成30年度当初予算の規模　（　）は前年度

会計	当初予算額	増減額	増減率
一般	2,009億円 （1,971億円）	38億円	1.9%
特別	1,976億5,177万円 （2,108億7,612万円）	△132億2,435万円	△6.3%
合計	3,985億5,177万円 （4,079億7,612万円）	△94億2,435万円	△2.3%

30年度に進める主な取り組み

みんなで担う公共と協働のまち
・地域コミュニティの活性化
・本市の魅力を内外に効果的に発信するシティプロモーション戦略の策定
・公共施設整備保全基金の新設

健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち
・高次脳機能障害者支援員の配置
・介護人材の確保・育成
・助産師がサポートを行う産後ケア事業の開始

活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち
・子育て家庭の負担軽減や仕事と家庭の両立支援
・給食センターの整備
・富士森公園陸上競技場のリニューアルオープンに向けた改修工事

安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち
・マルベリーブリッジの西放射線ユーロードへの延伸
・空き家の利活用の促進
・総合防災ガイドブックの全戸配布

魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち
・外国人観光客の誘致に向けた多言語リーフレット等による魅力発信
・農作物被害への対策
・公共建築物における多摩産材の活用

一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち
・ガラス等の不燃残渣（さ）の資源化による埋め立て処分量ゼロに向けた取り組み
・緑地取得に備えたみどりの保全基金強化
・外来生物の防除対策

3月5日に予算案に対して各会派が代表質疑を行いました。

予算案に対する 会派代表質疑

主な質疑と答弁の要旨を発言順に掲載しています。

生活者ネットワーク・社会民主党・市民自治の会　前田 佳子

農林業資源を保全し有効活用

農林業資源の有効な活用を

問　市内の農林業資源を保全しながら、有効に活用するために、どのように取り組んでいくのか。

答　防災、環境、景観、教育など、多面的な機能を持つ農地を保全する一方、都市における農林業の持つ可能性をいかす施策を推進することで、本市ならではの魅力を高めていく。

学校施設の複合化への指針は

問　学校同士や学校と他の公共施設など、今後の複合化の進め方は。

答　老朽度合いと教育環境の適正化の観点から、対象施設を検討している。今後は、優先事業を定めて計画段階から学校、保護者、地域と情報共有や意見交換等を丁寧に行い、整備を進めていく。

八王子市議会公明党　五間　浩

市内に給食センターを開設

温かい中学校給食の実現へ

問　30年度は2カ所の給食センターの建設工事に着手するとのことだが、3年間で7カ所程度の整備をどのように進めるのか。

答　先行する2カ所は32年1月の供用に向けて工事を実施し、残りは候補地を検討し、33年4月供用を目指して整備していく。

災害時の自助促進に向けて

問　都による市内の土砂災害警戒区域等の指定完了に伴い、市は総合防災ガイドブックを作成し、全戸配布するとのことだが、これにより市民の自助をどのように促していくのか。

答　自助の考え方は市民に浸透してきているが、地域特性が確認できるこの冊子を活用し、さらなる自助の必要性を啓発していく。

市民・民進クラブ　相澤 耕太

建物が狭い学童保育所も

健やかな成長のため改善を

問　既存の学童保育所は、建物が狭く改善が必要な施設が多いが、整備と充実についての考えは。

答　これまでは待機児童解消に重点を置いてきたが、今後は良質な保育環境を整え、子どもたちが快適に放課後を過ごせるよう、改善に取り組んでいく。

下水道設備の維持管理は

問　耐用年数を経過し、調査等が必要な下水道設備が増えることを見据え、維持管理の施策を確立するべきではないのか。

答　布設年度の古い地区において、予防保全型の維持管理として計画的な延命化や更新工事を進めている。今後も、市民生活の安全・安心を守る維持管理を行っていく。

自民党新政会　浜中 賢司

次代を担う子どものために

本市の新たな100年は

問　新たな100年に向け、まちづくりに対する考えを聞きたい。

答　次代を担う若い世代が豊かな人生を送ることができる社会環境を整える。そのため、首都圏西部の玄関としての拠点性をいかしたまちづくりを推進し、企業の投資を呼び込み、雇用の場を創設していく。

保育の質の向上は

問　今後、保育の質が重要な課題となると考える。保幼小連携による保育の質の向上の取り組みは。

答　「保・幼・小子育て連絡協議会」において、教育委員会と一体で、幼児教育や保育の質の向上に取り組み、次代を担う子どもの健やかな成長を育む環境を整えていく。

日本共産党八王子市議会議員団　市川 克宏

学校生活ではさまざまな費用が

義務教育の完全無償化へ

問　給食費や学用品等を含めた義務教育の完全無償化への市の考えは。

答　完全無償化は国の責任と考えているが、市は保護者の経済的負担軽減の必要性を認識し、就学援助等の充実に取り組んできた。今後も負担軽減に努め、国等に支援を要望していく。

被保険者の負担軽減を

問　国民健康保険（国保）は4月から制度が変わるが、一般会計から国保特別会計への繰り入れを引き続き実施し、保険税の負担軽減を図るべきでは。

答　新制度では都が示す標準保険料率を適用し、都全体で支え合うが、急激な負担の増加に配慮し、引き続き一般会計からの財政支援を行っていく。

予算等審査特別委員会の審査から

五間 浩 委員長

前田 佳子 副委員長

30年度予算案は、予算等審査特別委員会（五間浩委員長、前田佳子副委員長）に付託され、全体会議と分科会で慎重に審査しました。ここでは、全体会議で行われた総括質疑の主な質疑と答弁の要旨を掲載しています。

予算案をチェック！への第1歩は？

総務企画委員会関連

30年度当初予算 次の100年に向けた取り組みは

30年度予算は、次の100年を担う子ども関連施策に重点を置き、編成した。

問 **30年度予算の特徴について聞きたい。**

答 給食センター整備など次の100年を担う若い世代のための施策に重点を置き、また、川口物流拠点整備など将来の八王子のためのプロジェクトに積極的に配分した予算とした。

問 **予算編成に当たり、効果・効率的な事業運営を検討するなど、歳入歳出改革に取り組んだ事業は。**

答 総事業費の徹底した見直しを行い、歳入歳出改革を行った。具体的には、本庁舎の昼間の守衛業務や戸吹清掃工場の昼間の運転業務などの委託化、市民部各事務所の窓口利用者の減少による職員体制の見直しなどにより歳出を削減した。

問 **次の100年に向け、今後も自立した都市となるために、自主財源の確保への取り組みは重要である。市税収入の確保に向けた取り組みは。**

答 市税は、市政運営を進める上で貴重な一般財源である。今後も収入率の維持向上に向けた体制整備に努め、すべての税金が納期内に完納されるよう、徴収努力を継続していく。

問 **独自の発想で、積極的に自主財源の確保に取り組んでもらいたいがどうか。**

答 自主財源の確保は、市民サービスを安定的に提供するため、重要であると考えている。そのため、施設を利用した広告収入や財産を活用した賃貸料の収入など、創意工夫によるさらなる収入増加を検討し、積極的に確保していきたい。

施設の命名権も貴重な収入に（市民会館：オリンパスホール八王子）

防災対策・生活安全対策 安全で安心なまちづくりを

災害発生時に適切な避難行動を促すため、総合防災ガイドブックを作成し、全戸に配布する。

問 **29年10月の台風21号により、土砂災害の警戒区域や特別警戒区域以外の場所でも、土砂が崩れて被害にあった市民がいる。災害対策について、どのように市民に周知・啓発していくのか。**

答 災害が発生し、いざという場合に、市民が自らの判断で命を守るための避難行動がとれるよう、30年度に総合防災ガイドブックを作成する。これにより、危険箇所の周知や具体的な避難方法、避難のタイミング、土砂災害の前兆現象などについて、わかりやすく周知・啓発していく。

総合防災ガイドブックには、土砂災害・洪水ハザードマップ等を掲載予定

地域防犯の役割を担う町会・自治会等に対する防犯カメラ設置経費の補助団体数を拡大する。

問 **市内の防犯カメラの設置数は、30年度には668カ所にまで拡大されるとのことである。今後も設置を推進すべきと考えるがどうか。**

答 町会・自治会に対しては、30年度以降も設置の効果を説明し、補助希望を調査するとともに、随時設置の相談を受けていく予定である。また、地域や警察署とも連携し、効果的な設置を進めていく。

議長を除く全議員で構成される
予算等審査特別委員会で予算案を審査

総括質疑で 新たな100年

文教経済 委員会関連

教育環境の整備
より良い教育環境の実現を

すべての市立小・中学校にスクール・サポート・スタッフを新たに配置する。

問　**教員の多忙化の解消が問われている中、本市では、スクール・サポート・スタッフを全小・中学校に配置するとのことだが、どのような業務を扱うのか聞きたい。**

答　実験の教材の準備や片付けなどの授業支援や、児童・生徒や保護者への配付物の印刷業務のほか、教員自身が業務負担の軽減を実感できる内容を考えている。

問　**スクール・サポート・スタッフの配置により、どのような効果が期待できるのか。**

答　教員の業務負担の軽減が図られ、各学校において、教員がより児童・生徒への指導や教材研究等に注力できることを期待している。

食缶方式による温かい給食を提供するため、市有地を活用して給食センターを整備する。

問　**今後整備される給食センターは、地域の方や子どもが集える場所としても活用してもらいたいがどうか。**

答　地域の方が食でつながる場所として活用できるよう、料理教室や食育講座での利用を想定した調理設備のある食育スペースを整備する予定である。

問　**食育推進や給食センター運営の安定化のためにも、今後は、給食の全員喫食を目指すべきと考えるがどうか。**

答　同じ給食を食べ、給食を生きた教材として日々指導することは、子どもたちの望ましい食習慣を育む上で大切であり、学校給食法の理念実現のためにも全員喫食としていく。

外国人観光客の誘致
新たな魅力の創造と発信に向けて

日本遺産の認定に向け、本市固有の歴史・文化財を観光と結び付け、地域の魅力を発信する。

問　**日本遺産の認定は、シティプロモーションや観光の分野にも密接にかかわると考える。効率よく魅力を発信するため、どのように取り組むのか。**

答　日本遺産は、地域の歴史的特徴を発信し、地域活性化を図る取り組みである。認定には、本市の歴史や文化の魅力とともに、シティプロモーションや観光振興の要素も合わせて魅力を発信していくことが重要であり、関係所管と連携しながら全力で進めていく。

問　**2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた外国人観光客の誘致策について聞きたい。**

答　現在、QRコード付きの観光PR扇子や見どころのスポット写真を掲載したリーフレットなどを作成し、市外のイベント、外国人の多く集まる空港やバスタ新宿、都庁等で配架している。今後も多言語での効果的な情報発信を進めていく。

外国人向けに写真映えするスポットを紹介する多言語のリーフレット

問　**外国人観光客の誘致には、本市の特徴をいかし、他市との差別化を図った独自の取り組みが必要と考えるがどうか。**

答　外国人が魅力を感じる観光資源の掘り起こしは、誘致を進めるために重要である。市が実施する体験楽習フェスティバルの中で、外国人が体験できる取り組みを進めるほか、本市固有の歴史・文化財を魅力的なストーリーのもとに物産・観光に結び付けて発信する日本遺産の認定に向けた準備も進め、他市と差別化を図った本市ならではの魅力発信に努めていく。

予算案をチェック！への第1歩は？

厚生委員会関連

子育てしやすいまちへ
子育ての不安や孤立感の解消を

子どもに居場所や食事などを提供する地域団体のため、地域子ども支援事業を行う。

問　**フードバンクや子ども食堂への市の直接的な支援も検討してもらいたいが、事業の広がりと成果、今後の展望は。**

答　子ども食堂や学習支援等を行う団体が事業に登録しており、連絡会や食品衛生等に関する研修を開催した。連絡会に参加しているフードバンクが子ども食堂へ食料を提供するつながりも生まれてきたところであり、引き続き団体間の連携を支援するとともに、活動の周知方法を工夫していく。

子どもを支える活動を行う団体をつなぐ「八王子食堂ネットワーク」

八王子版ネウボラ充実のため、助産師が家庭を訪問し、産後ケアを行う。

問　**より多くの方が利用できる仕組みを作ってもらいたいが、どのように取り組んでいくのか。**

答　産後ケアは、生後4カ月までの乳児がいる産婦で、家族の協力が得られない方や育児に不安がある方を対象に、助産師が訪問して乳房ケアや育児方法の助言を行うもので、開始時期は8月を予定している。妊婦面談やあかちゃん訪問の際に直接、事業について案内するほか、産科医療機関とも連携し、支援が必要な方が利用できるように周知を図っていく。

問　**市民から要望がある宿泊型や通所型の実施は。**

答　まずは市民要望が最も高い訪問型を開始し、初年度の実施状況を踏まえ、運営面の課題などを調査・研究していく必要があると考えている。

高齢者施策の充実
安心して介護を受けるために

介護人材の育成のため、市内介護事業所に勤務する介護従事者の資格取得費用を補助する。

問　**介護事業所の人材不足の実態を把握し、確保する職種や人数などを検討する、戦略的な政策が必要ではないのか。**

答　高齢者計画・第7期介護保険事業計画では、市内の全介護事業所に対し人材確保等に関する調査を行い、計画策定の基礎資料とした。今後は事業者にヒアリング等を行い、より現場の状況を踏まえた取り組みとなるよう努めていく。

問　**介護福祉士の養成に対する取り組みは。**

答　第7期計画で実施する事業所キャリアパス研修等を通じて、介護福祉士をはじめとする有資格者の養成や、事業所内での業務のあり方に関する内容も取り上げていきたいと考えている。

認知症高齢者グループホームを対象に、利用者の負担軽減分を助成する。

問　**特別養護老人ホームと同様に低所得者の費用負担が軽減されるが、利用者にとってどのような利点があるのか。**

答　居住費の軽減が図られることから、費用面によらない最適な施設利用の選択ができることが期待される。

家庭的な環境で共同生活を送る認知症高齢者グループホーム

予算案が可決されるまで

本会議	←予算等審査特別委員会→				本会議	本会議
	(全体会議)	(分科会)	(全体会議)			
可決	予算等審査特別委員会審査報告、討論、採決	各分科会報告、意見、採決	予算案の審査	予算案の審査（総括質疑）	予算案に対する会派代表質疑	市長による予算案の提案説明
	3/27 (P8)	3/23	3/13～16	3/7～9・12 (P4～P7)	3/5 (P3)	3/5 (P2)

今定例会の日付（掲載ページ）

総括質疑で 新たな100年

都市環境委員会関連

川口土地区画整理 どのように進めていくのか

川口土地区画整理組合に対し、技術指導を行うとともに事業認可に対する助成金を交付する。

問　川口土地区画整理は地域経済を高める取り組みと期待しているが、今後の予定は。

答　30年度から環境保全措置等を行い、造成工事等に着手し、32年度に一部供用開始する予定である。また、35年度までにおおむね工事を完了させ、36年度には区画整理後の地番等の権利内容を通知する換地処分を行い、37年度に組合を解散し、事業完了の予定である。

問　区画整理で整えられる業務用地に物流拠点を整備するからには、成功してほしい。事業を進めるに当たり、雇用創出を最優先課題とするべきと考えるがどうか。

答　物流拠点整備は、企業進出により、雇用創出、税収増など地域経済の振興や活性化に大きく寄与するものである。引き続き、雇用確保に向け、事業者に対して支援などを行っていくことを考えている。

問　今後、労務単価等の高騰により事業費が増えることも想定されるが、助成金に対し、上限額を設定する考えがあるのか聞きたい。

答　助成金は公共施設の整備費などに対して交付するものであり、その額の多い少ないで制限することは、適切ではないと考えている。

川口土地区画整理組合により事業が実施される計画予定地

新館清掃工場の建設・路上喫煙対策 生活環境の向上に向けて

安定した市内2工場体制を構築するため、新館清掃工場の整備・運営事業を行う。

問　老朽化した北野清掃工場の休止を見据え、34年度の供用開始を目指し整備している新館清掃工場と現行の戸吹清掃工場の市内2工場における今後のごみ処理体制は。

答　戸吹清掃工場の長寿命化工事により、1日当たり200トンの運転を想定し、これに新館清掃工場の160トンを加え、合計360トンの処理体制となる。ごみ減量が進む中、現在の400トンの処理体制からは縮小する考えである。

問　現在、北野台、みなみ野地域等のごみは、多摩ニュータウン区域を処理している多摩清掃工場に応援処理を依頼しているが、新館清掃工場の稼働後はどのようになるのか。

答　応援処理を依頼している地域のごみのうち、年間8千トンを新館清掃工場で処理するように引き上げ、4千トンを多摩清掃工場に残す予定である。

路上喫煙の防止に関する条例に基づき、喫煙マナーの向上や安全な歩行空間の確保を図る。

問　現在、市内四つの駅周辺を路上喫煙禁止地区に指定し、例外として区域内に喫煙スポットを設け、喫煙できるようにしているが、受動喫煙防止対策が不十分な場所もある。受動喫煙の有害性を前提とした路上喫煙防止条例の改正の考えは。

答　現在、国の健康増進法の改正や都の受動喫煙防止条例の制定が進められており、その動向も注視しながら、本市の対応を検討していきたい。

路上喫煙禁止地区の喫煙スポット（京王八王子駅前）

このほかの主な質問事項

- ◇行財政運営
- ◇職員採用・研修
- ◇都市の魅力の創造・発信
- ◇電力の地産地消
- ◇海外友好交流都市との交流
- ◇企業立地支援
- ◇多摩産材の利用促進
- ◇文化財保存活用の推進
- ◇小学校給食費の無償化
- ◇いじめ防止対策
- ◇障害者スポーツの推進
- ◇地域福祉推進拠点の整備
- ◇国民健康保険税の負担軽減
- ◇医療費の適正化
- ◇高次脳機能障害者支援
- ◇自殺対策の推進
- ◇保育施設の整備促進
- ◇多摩ニュータウンの再生
- ◇中心市街地の活性化
- ◇市街化調整区域のまちづくり
- ◇今後のはちバス運行
- ◇環境基本計画の見直し
- ◇市街地での外来生物対策

予算案の採決に先立ち、討論を行いました。

討論　予算案に対し、こう考える

各議員の討論から、主な内容を掲載しています。

賛成　自民党新政会　石川　裕司

投資すべき事業には投資を

30年度予算は、にぎわいの再生に向けた都市づくりや、次の100年を担う子ども関連施策に重点を置いており、将来世代に負担を先送りしない中期的な投資に備えた点も高く評価する。

今後も、さまざまなプロジェクトを見据えた確実な財政運営を行い、投資すべき事業にはしっかりと投資する行財政運営を求め、本予算に賛成する。

賛成　八王子市議会公明党　市川　潔史

中学校給食の完全実施を評価

本予算で特筆すべき点は、給食センターを整備して温かい中学校給食を3年後までに完全実施することである。

東京23区と比べ、多摩地域はインフラ整備が遅れ、各自治体が都への財政援助を要望してきた経過があるが、長年の本市の課題であった中学校給食の完全実施により、格差解消がまた前進したことを評価し、本予算に賛成する。

賛成　市民・民進クラブ　伊藤　忠之

次の100年に向けた第一歩を

30年度予算では、課題であった給食センターの整備やマルベリーブリッジ延伸工事の予算が計上されたことを評価する。市民サービスの提供に当たり無理のない職員体制を構築するとともに、今後も各施策については、事業の必要性や費用対効果等を十分に考え、めりはりをつけた市政運営に取り組むことを要望し、本予算に賛成する。

賛成　諸派　小林　裕恵

大好きな八王子をつくるために

本予算は子ども施策の充実や、将来への投資を含んだ予算である。また、29年4月の待機児童数を上回る保育定員を確保したことを評価するが、保育の継続性のための公立保育園の指定管理者制度の見直しや、教員の負担軽減など、大好きな八王子をつくるための提案を行財政運営に反映することを強く要望し、本予算に賛成する。

反対　日本共産党　八王子市議会議員団　青柳　有希子

市の姿勢に疑問を持つ

川口土地区画整理では、環境影響評価書の作成に当たり、市民に対し丁寧な説明を求める意見等が都から出されているが、市は自ら十分な説明を行っておらず、その対応は不誠実である。

また、川口土地区画整理組合の責任で築造すべき調整池は、公益性が認められるものではなく、市が助成する根拠がないと指摘し、本予算に反対する。

反対　生活者ネットワーク・社会民主党・市民自治の会　陣内　泰子

住民福祉に目を向けた施策展開を

市債残高の増加が予測される中、市債を借り入れて行うマルベリーブリッジ延伸や、川口土地区画整理等の費用対効果の予測や住民への十分な説明のない事業の予算化は認められない。予算は、高齢化の進展による扶助費増加に備えるなど、今後の財政状況を見通し、住民福祉の向上に役立つ事業を優先すべきと指摘し、本予算に反対する。

可決した平成30年度予算

一般会計における市民1人当たりの予算額は？　⇒　356,726円

民生費　181,326円

衛生費　40,966円

教育費　33,713円

総務費　32,105円

土木費　28,157円

公債費　22,734円

消防費　12,331円

その他

（議会費、労働費、農林業費など）

5,393円

※住民基本台帳人口 563,178人（平成29年12月末現在で換算）

本会議の審議から

市長提出議案

市長提出議案67件は、いずれも原案のとおり可決しました。このうち、29年度補正予算議案9件と、委員会への付託を省略した議案7件については、次のとおりです。

29年度補正予算議案

■一般会計補正予算
■国民健康保険事業特別会計補正予算
■後期高齢者医療特別会計補正予算
■介護保険特別会計補正予算
■母子・父子福祉資金特別会計補正予算
■下水道事業特別会計補正予算
■土地取得事業特別会計補正予算
■借入金管理特別会計補正予算
■給与及び公共料金特別会計補正予算

9会計合わせ、83億240万円を減額

主な内容については、下記の「委員会の審査から」をご覧ください。

付託を省略した議案

■特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部改正

関連する法律の改正に伴う規定整備

■消防団員等公務災害補償条例の一部改正

政令により補償基礎額への加算額の基準を改定

■教育長の任命
■固定資産評価審査委員会委員の選任
■副市長の選任
■固定資産評価員の選任

前記4議案にかかわる任命・選任を受けた教育長・委員・副市長・評価員の氏名については、12ページの「議案・請願審議結果一覧」をご覧ください。

■市史編さん審議会条例の廃止

議員提出議案

議員提出議案は、意見書2件を審議し、否決しました。

意見書の名称については、12ページの「議案・請願審議結果一覧」をご覧ください。

請願

不採択とした請願

○2018年度国民健康保険税の負担軽減を求める請願

主な内容については11ページの「厚生委員会」をご覧ください。

委員会の審査から

本会議で付託された、29年度一般会計補正予算など市長提出議案14件及び請願1件は、各常任委員会で慎重に審査を行いました。各委員会の主な審査状況などは、次のとおりです。

総務企画委員会

開催日　2月27日

■一般会計補正予算
■国民健康保険事業特別会計補正予算
■後期高齢者医療特別会計補正予算
■介護保険特別会計補正予算
■下水道事業特別会計補正予算
■土地取得事業特別会計補正予算
■借入金管理特別会計補正予算
■給与及び公共料金特別会計補正予算

市施設の整備等に備え、公共施設整備基金を増額

問　公共施設整備基金に積み立てた理由は。

答　今後、公共施設が老朽化していくため、施設の改修等を見越したものである。

結果　可決すべきものと決定

■土地の処分

八王子食肉処理場の跡地（子安町一丁目）を処分

問　処分金額が、最低制限価格3億1千800万円を約1億円上回っているが、土地評価や価格設定は適正であるのか。

答　最低制限価格は、不動産鑑定士2名から、近隣の相場などを考慮した土地評価の鑑定書を取って設定しており、適正価格であると考えている。

結果　可決すべきものと決定

◎その他の議案

■市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

結果　可決すべきものと決定

《主な報告事項》
◇ほっとタイムサービスの実施時間の変更

開催日　3月14日

《主な報告事項》
◇八王子ビジョン2022（2018基本計画改定版）について
◇多文化共生推進プランの改定

策定後5年を経過し、社会情勢の変化等に対応するため改定された両計画

文教経済委員会

開催日　2月27日

■一般会計補正予算

小・中学校施設の改修工事費を前倒しして予算化

問　学校施設の改修は、緊急性が求められており、積極的な姿勢で進めてもらいたいと考える。取り組みを進めていく上で、課題はあるのか。

答　トイレや外壁など、学校施設の大規模な改修工事は、国や都の補助金を活用して実施しており、補助金が確保できる見込みが立たないと継続して進めることが困難である。また、学校等と調整を行う中で、夏休みを中心に改修できる学校の数が限られること、契約件数が多くなることで契約不調の問題が生じることなどである。

問　公教育の充実に向けて、学校の学力の質を向上させていくためにも、環境整備は重要である。財政的に厳しい側面があることは理解できるが、国や都の補助金を待つのではなく、ある程度は定期的に行えるように、市債を使ってでも投資するくらいの姿勢が必要と考えるがどうか。

答　学校施設の安全・安心や衛生環境の向上は、何としてでも進めなければならないという気持ちで臨んでいる。予算においては、補助金や市債発行の枠等もあるが、学校の学習環境に影響を与えないように考慮しながら、適正な工事数を計画しているところである。

問　小・中学校のトイレ改修について、洋式化は現在どの程度進んでいるのか。

答　現在、和式も残しながら、改修により学校全体のトイレの約4割を洋式化している。

問　いつ完了するのかなど、トイレ改修の今後の見込みについて聞きたい。

答　財源やタイミングが非常に重要であるため、完了年度を確定することはできないが、国の制度等をいかに有効に活用していくかを念頭に置きながら、できる限り早く完了できるよう、積極的に対応していきたい。

結果　可決すべきものと決定

《報告事項》
◇29年度教育委員会いじめ問題対策委員会の実施状況

開催日　3月14日

《報告事項》
◇4月以降の市の執行体制
◇移動販売の状況

買い物支援対策事業として民間事業者が買い物困難者の多い地域で移動販売を実施

厚生委員会

開催日　2月28日

■一般会計補正予算
■国民健康保険事業特別会計補正予算
■後期高齢者医療特別会計補正予算
■介護保険特別会計補正予算
■母子・父子福祉資金特別会計補正予算

国保被保険者数の減少により、保険給付費を減額

問　国民健康保険（国保）の被保険者が約5千人減少した要因と、その見込みについてもう一歩踏み込んだ分析の必要性は。

答　社会保険の適用拡大に伴い、国保を離脱して社会保険に加入する方が増加したことが大きな要因である。定年延長で働く方の増加や雇用環境の改善などによる、社会保険加入者の増加をどこまで見込むかは、課題として受け止めている。

保育所等の事故防止及びICT化を推進

問　保育所での事故防止のための無呼吸アラーム及び監視モニター導入により、保育士の働き方に変化はあるのか。

答　現在、保育所では、保育士の目視により午睡中の呼吸の確認を行っている。基本的には人の目で確認しているが、機器の導入により、それを補完でき、保育士の安心につながると考えている。

睡眠中の呼吸などを感知し、一定時間停止すると音やランプで知らせる無呼吸アラーム

問　監視モニターの設置が、事故防止に単純につながるものではないと考える。設置による、個人情報の問題等のトラブルの把握を含め、既に設置している施設の検証を十分に行うべきではないのか。

答　今後モニターを設置する保育所については把握していきたい。映像を事故予防に活用している事例もあることから、現場の声を大事にしながら、個人情報保護の問題も含めて検討し、導入を進めていきたい。

障害福祉サービスの給付費を増額

問　放課後等デイサービスの利用見込みが、補正前に比べ2割以上増えた理由は。

答　放課後等デイサービスをはじめとした、療育の場が必要な子どもの支援の認知度が上がっていること、また、子どもを預けることにより、保護者の休養につながることも、需要の高さに結び付いていると考えている。

結果　可決すべきものと決定

◎その他の議案
■災害り災者救護条例の一部改正
■東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更

結果　可決すべきものと決定

開催日　3月16日

◎請願

■2018年度国民健康保険税の負担軽減を求める請願

国保税の値上げ中止と、加入者の負担軽減を

市はこれまでも国保税の引き上げを行っており、低所得者が多数を占める国保加入者の負担は限界にきている。よって、国保税の値上げを行わず、加入者の負担軽減に必要な一般会計から国保特別会計への繰り入れの継続・拡充、子どもにかかる均等割を軽減する仕組みをつくることなどを求める請願。

問　**一般会計からの繰り入れを例年の規模で行い、今回の値上げを見送ることもできたと考えるがどうか。**

答　一般会計からの繰り入れは、市民の税金を使うことになり、国保加入者以外にもさらに負担を求めることになる。また、30年度より国保が都道府県単位化され、国保加入者を都内の他の自治体にも支えてもらう形になり、本市としても対応する必要があることから、国保加入者の負担を最小限にしながら、改定を行うものである。

問　**国保制度が持続可能なものとなるよう、低所得者にしっかりと配慮してもらいたいがどうか。**

答　低所得者にとって値上げが負担となることは十分認識した上で、その方に応じたきめ細やかな納付相談を通じて、自立支援の相談など他の支援にもつなげていきたい。

結果　不採択とすべきものと決定

《主な報告事項》

◇地域福祉推進拠点浅川・大和田の開設

都市環境委員会

開催日　2月28日

■一般会計補正予算

■下水道事業特別会計補正予算

■借入金管理特別会計補正予算

高尾駅南北自由通路等の整備費を減額

問　**高尾駅南北自由通路の整備の着工が遅れるとのことだが、現在の状況はどのようになっているのか。**

答　30年の着工に向け、JR東日本株式会社と交渉していたが、社会的な問題等から労務単価が上がり、当初より事業費が膨大となり、JRへの負担分も大きくなったことなどから条件が整わず、再度、協議を行っていくこととなった。

緊急輸送道路沿道建築物の耐震化の事業費を減額

問　**特定緊急輸送道路沿道の建築物における耐震化促進の対象と、耐震化が終了した棟数について聞きたい。**

答　特定緊急輸送道路に面した建築物で、高さが幅員の2分の1以上である653棟のうち旧耐震基準により建設された111棟が改修の対象となる。29年度末で、50棟の耐震改修が完了し、全体の653棟に対し、90・7%の耐震化率となる。

問　**沿道の建築物が1棟でも道路を塞ぐことになれば、その機能が果たせなくなると考える。早期に対象となる全棟の改修完了が望まれるが、事業の進捗率をどのように捉えているのか聞きたい。**

震災等の災害時には特定緊急輸送道路として使用される甲州街道（国道20号）

答　市では耐震改修促進計画を策定し、31年度末に耐震化率90%、37年度末に100%を目標としている。29年度の段階で31年度の目標は達成しており、今後、毎年8棟程度の耐震化改修を進められれば、37年度末に100%を達成することができると考えている。

問　**分譲マンションの耐震化促進事業を利用して改修したマンションは2棟であるとのことだが、耐震化が進んでいかない課題は何か。**

答　分譲マンションは、多くの区分所有者がおり、それぞれ権利を有しているため、改修の合意形成を図っていくことの困難さがある。市は都と連携し、個別にマンションを訪問して管理組合へ耐震化の必要性などを説明しており、建築士等を派遣して耐震化についてのアドバイスを行う事業を有効活用し、耐震化を進めていきたい。

居住環境の整備に関する助成費を減額

問　**実績見込みにより助成費を減額しているが、今後の助成について、どのように考えているのか。**

答　子育て支援住宅整備助成は、賃貸集合住宅の共有部分への子育て向けの改修に対し、都の補助を活用し実施するものであるが、需要がなかったための減額であり、見直しが必要と考えている。また、空き家利活用促進整備助成は、2件の申請があったが、制度の理解が進まず、伸び悩んだと捉えており、今後、データベース作成も始まる中、PRを行い、制度の利用促進に努めたいと考えている。

下水道の長寿命化対策事業の工事費を減額

問　**長寿命化対策について、現在は、どのような整備を行っているのか。**

答　老朽化が進んでいる北野処理区合流区域の下水道管の調査を行っている。管のひび割れなどの損傷部分について、地下水等の不明水が流入しないよう、管路更生工事を行うなどの対策を行っている。

結果　可決すべきものと決定

◎その他の議案

■市道路線の認定

結果　可決すべきものと決定

開催日　3月16日

《報告事項》

◇新館清掃施設事業の概要

◇4月以降の市の執行体制

平成30年第１回定例会

議案審議結果一覧

《市長提出議案》 67 件		会派の賛否					
議案名	結果	自民党 11 人	公明党 10 人	市民ク 4 人	共産党 4 人	ネ社自 4 人	諸派 2 人
教育長の任命（安間 英潮氏）	同意	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任（東田 夏記氏）	同意	○	○	○	○	○	○
市史編さん審議会条例を廃止する条例設定	可決	○	○	○	○	○	○
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	○	○	○
平成30年度一般会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成30年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成30年度介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成30年度母子・父子福祉資金特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成30年度下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成30年度土地取得事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成30年度駐車場事業特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成30年度借入金管理特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成30年度給与及び公共料金特別会計予算	可決	○	○	○	×	×	○
平成29年度一般会計補正予算（第４号）	可決	○	○	○	○	○	○
平成29年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○
平成29年度介護保険特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○
平成29年度母子・父子福祉資金特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○
平成29年度下水道事業特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○
平成29年度土地取得事業特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○
平成29年度借入金管理特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○
平成29年度給与及び公共料金特別会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○
市議会議員及び市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	○	○	○
災害り災者救護条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	○	○	○
土地の処分	可決	○	○	○	○	○	○
東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○
組織条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
職員退職手当支給に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
公共施設整備保全基金条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
職員退職手当基金条例を廃止する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
手数料条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
斎場条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
特別養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
軽費老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
障害福祉サービス事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定障害者支援施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
国民健康保険条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
介護保険条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
住宅宿泊事業の適正な運営の確保に関する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
学校設置条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
図書館条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
都市公園条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
市営住宅条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
住宅確保要配慮者専用賃貸住宅の家賃低廉化補助に関する条例設定	可決	○	○	○	×	×	○
指定管理者の指定【２件】（戸吹湯ったり館、高尾599ミュージアム）	可決	○	○	○	×	×	○
包括外部監査契約の締結	可決	○	○	○	×	×	○
消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例設定	可決	○	○	○	○	○	○
副市長の選任（木内 基容子氏）	同意	○	○	○	○	○	○
固定資産評価員の選任（木内 基容子氏）	同意	○	○	○	○	○	○

《議員提出議案》 ２件		会派の賛否					
議案名	結果	自民党	公明党	市民ク	共産党	ネ社自	諸派
東京都シルバーパスの負担軽減と制度改善を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	○
生活保護費引き下げに反対する意見書	否決	×	×	×	○	○	○1、×1

請願審議結果一覧		会派の賛否					
件名	結果	自民党	公明党	市民ク	共産党	ネ社自	諸派
2018年度国民健康保険税の負担軽減を求める請願	不採択	×	×	×	○	○	×

※「会派の賛否」には議長（自民党所属）は含まれません。　**自民党**：自民党新政会　**公明党**：八王子市議会公明党　**市民ク**：市民・民進クラブ
○：賛成　×：反対　　は、30 年度当初予算　**共産党**：日本共産党八王子市議会議員団　**ネ社自**：生活者ネットワーク・社会民主党・市民自治の会

第1回定例会以外の活動

第1回定例会以外の1月9日から4月11日までの各委員会の活動について掲載しています。

議会運営委員会

▼1月19日　会議
【主な案件】
◇議会基本条例の検証について

総務企画委員会

▼2月13日　会議
【報告事項】
◇委任専決処分の報告
○草刈り作業中の家屋窓ガラス破損事故

文教経済委員会

▼2月13日　会議
【主な報告事項】
◇第2回中学生サミットの実施結果
◇いじめ防止対策事業「見て、感じて、考えよう－いじめ－」の実施結果
◇市制100周年記念事業「グランドフィナーレ」の実施結果

厚生委員会

▼2月14日　会議
【主な報告事項】
◇シルバーふらっと相談室松が谷の開設
◇病児・病後児保育施設の開設

▼2月14日　懇談会
【内容】
◇私立保育園協会との懇談

都市環境委員会

▼2月14日　会議
【主な報告事項】
◇ミクロネシア連邦チューク州におけるごみ問題改善プロジェクト第一次派遣報告
◇委任専決処分の報告
○草刈り作業中の普通自動車損傷事故

都市づくり・ニュータウン対策特別委員会

▼1月25～26日　行政視察
【視察地】
◇太田市、長岡市
【視察内容】
◇空き家等の利活用の促進について
◇空き家等の適正管理について

▼2月5日　会議
【主な案件】
◇空き家対策に関する取り組み
◇中心市街地活性化基本計画（素案）における空き店舗の状況と取り組み

交通対策特別委員会

▼1月25日　現場視察
【視察地】
◇相模原市役所、田名バスターミナル（相模原市）
【視察目的】
◇付議事項調査のため

▼1月31日　会議
【案件】
◇地域交通としてのタクシー利用の可能性に関する調査研究について

▼1月31日　懇談会
【内容】
◇タクシー合同営業運営委員会との懇談

復興支援・防災・危機管理対策特別委員会

▼1月25～26日　行政視察
【視察地】
◇一宮市、大津市
【視察内容】
◇総合治水対策について
◇地域防災力向上の取り組み

▼2月1日　会議
【主な案件】
◇防災・減災・復興・危機管理対策について

次世代支援・高齢社会対策特別委員会

▼2月2日　研修会
【内容】
◇講演　人口減少社会における次世代支援「子どもの貧困～実態と対策を考える～」

講師に阿部彩氏（首都大学東京教授）を招き、研修会を実施

▼2月2日　会議
【案件】
◇研修会についての意見交換

市議会トピックス

市議会議員研修会に参加

2月8日に、東京都市議会議長会主催の市議会議員研修会に参加しました。講師には、藻谷（もたに）浩介氏（㈱日本総合研究所主席研究員）が招かれ、「これからの観光振興と商店街の活性化　～各地の成功・失敗事例から多摩地域が学ぶこと～」をテーマに講演が行われました。

報告会を開催

今回で4回目となる議会報告会。報告は、四つの常任委員会の中から、文教経済委員会と厚生委員会（28年度は総務企画委員会と都市環境委員会）が担当しました。

報告会は、伊藤裕司議長の挨拶で始まり、吉本孝良議会運営委員長と美濃部弥生副委員長の司会により進行し、両委員会から、本会議や委員会で行われた質疑等の内容を中心に、報告を行いました。

また、参加者からの質問や意見に対し、委員長をはじめ、各委員が回答しました。

文教経済委員会の主な報告内容

「いじめ等に関する基本的な方針」

委員会での議員の質疑など

- いじめの解消に向けた市の取り組みは。
- 子どもが相談しやすい窓口の充実や、相談できる体制づくりの強化は。
- 教員からのいじめについての対策は。

委員会等での市の答弁や取り組み

- 学校では、学校いじめ対策委員会で情報を共有し、組織的に対応している。
- Eメールなどの活用の検討や、都へスクールカウンセラーの増員を要望している。
- チェックシートや管理職とのヒアリングで対応している。

「MICE※への取り組み」

- 重点を置くMICEは。
- 八王子らしさを出すには。

- 学会や展示会、スポーツイベントを中心としたMICE。
- 本市だからできる学習型体験でリピーターを取り込みたい。

※ MICE（マイス）＝Meeting（会議や研修等）、Incentive（視察等）、Convention（国際会議等）、Exhibition（展示会等）を総称した造語

委員会の報告に対する参加者からの主な質問

質問　子どもの自尊感情をそぐ大人の行動について、調査を行っているのか。

答　すべての大人がどのようにかかわっていくのかが重要である。今後、検討していきたい。

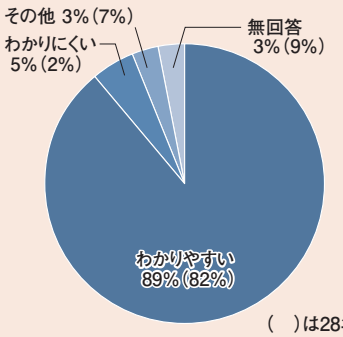
質問　多忙な教員が子どものようすを把握できるよう1学級の定員削減の議論は行っているのか。

答　35人学級や少人数学級に対する提案、また、教員の多忙化の問題なども議会で議論している。

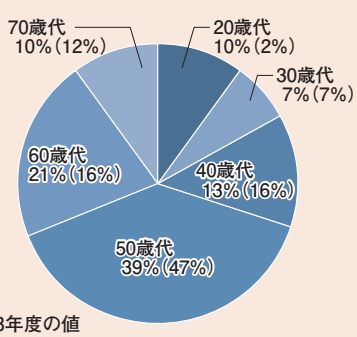
報告会での主なアンケート結果

総数61件

報告の内容



参加者の年代



（　）は28年度の値

報告内容について

◎行政の説明会のようである。議会内での議論がわかる報告会にしてほしい。
◎わかりやすい説明で、テーマへの関心が深まった。
◎スクリーンに投影した文字が見にくい。
◎耳が不自由なので、手話通訳者がいて、わかりやすい。
◎説明資料は工夫されていた。
◎抽象的な回答が多い。

開催日時・回数について

◎今後も平日の夜が良い。
◎週末や休日の方が良い。
◎夜は、子どもが小さい親や高齢者は参加しにくい。
◎大きなホールで1回だけではなく、身近な会場で回数を増やしてもらいたい。
◎常任委員会ごとに四日間開催してほしい。
◎年4回行う議会のたびに開催してほしい。

今後のテーマについて

◎日頃の議員の活動
◎議会内での議論が多かったもの
◎市民間で賛成・反対が顕著な課題
◎都市・地域活性化
◎市民の事業参加
◎子どもの健全育成事業
◎市民に身近なテーマ

※議会報告会での質問や回答等を掲載した会議録は、市役所の議会図書室で閲覧できます。市議会ホームページでは、他の質問に対する回答も閲覧できます。

平成29年度 議会

報告を行う渡口禎 文教経済委員長（左）と小林裕恵 厚生委員長（右）

市議会では、市民の皆さまに身近で、より開かれた議会を目指して、１月16日にクリエイトホールで、議会報告会を開催しました。
ここでは、主な報告内容や、参加者からの主な質問・アンケート結果を掲載しています。

厚生委員会の主な報告内容

	委員会での議員の質疑など	委員会等での市の答弁や取り組み
「認知症対策」	・認知症サポーターの拡大に向けた取り組みは。 ・認知症における介護サービス等のガイドブックの早期作成を。	・サポーター養成講座の周知や、講座の対象者を拡大していく。 ・29年４月に、「認知症まるごとガイドブック」を発行。
「子どもの貧困対策」	・子どもの貧困の実態を把握するための調査を。	・29年７月に、小学校５年生と中学校２年生全員に「子どもの生活実態調査」を実施。
「八王子版※ネウボラ」	・出産後に保健師等が家庭訪問する事業は、出産から訪問までに2、3カ月の空白期間がある。	・妊娠～出産～子育てと切れ目のない支援を行うため、28年４月から各保健福祉センターで全妊婦の妊婦面談を実施。

委員会の報告に対する参加者からの主な質問

質問　**認知症対策として、住民同士が行っている高齢者の見守りへの市の支援は。**
答　貴重な提案と受け止め、委員会審議の中でいかしていきたい。

質問　**介護施設で働いている職員の待遇改善に対する議会の考えは。**
答　市議会で介護労働者の待遇改善を求める意見書を採択し、国に送付した。今後も住民の声を受け止め、審議を通じて施策づくりに取り組んでいく。

※ ネウボラ＝妊娠期から切れ目のない子育て支援を行うフィンランドでの身近な地域の相談拠点

議会基本条例 議会改革 の検証を開始

市議会では、26年４月に議会基本条例を施行し、さまざまな議会改革に取り組んできました。このたび、条例の規定に基づき、条例の目的が達成されているかについて、検証を始めました。

評価会議で、取り組みを外部・内部から評価

検証には、市民や有識者等の意見を聴取することと条例で規定されていることから、２月16日、市民に公開のもとで、検証のための評価会議を開催しました。

会議では、条例の条文ごとにこれまでの取り組みについて、外部と内部から評価を行った結果を発表しました。

議会基本条例検証のための評価会議

外部評価（有識者）は80点

外部評価では、有識者が100点満点中80点、大学生が74・3点、また、議員による内部評価は86点でした。

外部評価は、条例策定の際にもご協力いただいた牧瀬稔氏（関東学院大学法学部准教授）が行い、また、茂原純氏（PHP総研コンサルタント）、中村円氏（政策研究者）、関東学院大学の学生の皆さんにもご協力いただきました。

外部評価を行った牧瀬氏（前列右）、茂原氏（前列左）、大学生の皆さん（後列）

※評価会議の詳細は、市議会ホームページで閲覧できます。

■発行 八王子市議会
■編集 議会運営委員会

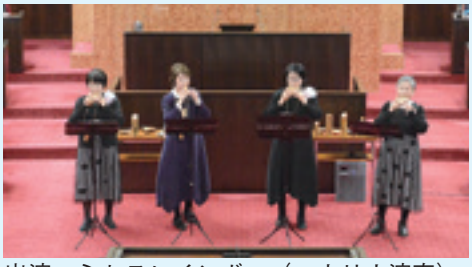
ホームページの検索は こちらから
八王子市議会 検索
〒192-8501
元本郷町3-24-1
■議会事務局庶務調査課
☎ 620-7311 FAX 626-2458
✉ b241100@city.hachioji.tokyo.jp
■議会事務局議事課
☎ 620-7312

次の議場コンサートは6月8日に開催♪

日時：６月８日（金）
　　午前９時30分～９時50分
受付：市役所３階議会事務局議事課
　　（午前９時より受付開始）

※市議会では、各定例会の初日に議場で20分程度のコンサートを開催しています。お気軽にお越しください。

前回の議場コンサート



出演＝ミセスレインボー（コカリナ演奏）

傍聴者からの声

もっと市政に関心を！

加藤 功さん
（中野山王）

市内男声合唱団の仲間10人と、初めて傍聴した。わが団も将来、議場コンサートに出演したいということから、下見を兼ねた傍聴であった。

当日の補正予算等に対する会派代表質疑は、それぞれの地域の思い、諸問題をぶつける一般質問とは異なり、内容が身近なことではなく、抽象的であったが、市長からのきめ細やかな提案説明に対し、議員の質疑も的を射たものであった。

傍聴席では、議場コンサートの素敵な演奏が終了すると、退席する方もいた。これでは寂しい！市民は、議員や市政にもっと関心を持ってほしいと感じたのと同時に、議会側も市民ロビーで傍聴を呼びかけるなど創意工夫し、もっと気軽に傍聴できるよう、真剣に取り組んでほしいと感じた。

平成30年第２回定例会の主な予定

会期：6/8～6/26

日	月	火	水	木	金	土
					6/1 招集告示日	2
3	4	5 議会運営委員会	6	7	8 開会日 議会運営委員会 本会議（一般質問） TV ネット	9
10	11 ←	12 本会議（一般質問） TV ネット	13 →	14 議会運営委員会 本会議 ネット	15 総務企画・文教経済委員会	16
17	18 厚生・都市環境委員会	19	20	21 議会運営委員会	22	23
24	25	26 本会議（採決等） ネット	27	28	29	30

ネット 市議会ホームページで中継
TV J:COM 八王子で生中継（一部の地域では、ご覧になれません）
●詳しくは議会事務局議事課までお問い合わせください。
●閉会中の議会日程については、市議会ホームページをご覧ください。

あなたの力作が26.5万世帯に！

市議会だより「ひびき」の表紙写真を募集

◎募集内容

夏をイメージした、市内で撮影した行事・風景・まちなみ・自然など、第２回定例会号（８月１日発行予定）の表紙にふさわしい写真

◎募集期間

５月１日～６月29日

応募規定や応募方法など、詳しくは市議会ホームページをご覧になるか、議会事務局庶務調査課へお問い合わせください。

市議会からのお知らせ

■会派名の変更

４月１日付で「市民・民進クラブ」は、会派名を「市民クラブ」に変更しました。

■詳しくは会議録で

市議会では、本会議や各委員会の発言などを掲載した「会議録」「委員会記録」を作成しています。会議録等は、市役所の議会図書室や市政資料室、各市立図書館などで閲覧できます。また、市議会ホームページからも閲覧することができますので、ご利用ください。なお、30年第１回定例会の本会議の会議録については、５月末までに完成する予定です。

■本会議の模様はホームページで

本会議の模様は、市議会ホームページで生中継しています。また、録画中継は会議終了後、おおむね７日後から配信します。

■掲載内容についてのご意見

掲載内容についてお気付きの点がございましたら、議会事務局庶務調査課へお寄せください。また、市議会ホームページからは、アンケートにもお答えいただけます。

※紙面の都合等により、本号は一般質問を掲載していません。